

令和元年度 各教科・分掌・学年・委員会の目標と方策

学 校 運 営 計 画		
学校運営方針	<p>1 生徒一人一人の進路希望を実現するため、組織的・計画的な教育活動を総合的に展開することで、生徒・保護者、地域から評価・信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>2 生徒が安全に、かつ安心して学べる教育環境を整備するとともに、自他共に、人の命の重さと大切さを認識させる教育活動を展開する。</p>	
昨年度の成果と課題	今年度の重点目標	具体的目標
<p>○生徒の進路希望実現に向けて教科、学年、進路指導部が組織的・計画的な対策を行った結果、国立大学合格者が過去最高の77名となった。今後も組織的な対応を継続するとともに、新しく始まる大学入学共通テストに対応した授業改善を進めていく必要がある。</p>	<p>確かな学力の定着を目指した「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P D C Aサイクルを意識した指導計画の作成 ・授業公開と生徒からの授業評価に基づく指導方法の改善 ・I C T等を活用した授業改善 ・面談や情報共有による多様な生徒への支援の強化
<p>○部活動は、水泳部の活躍を中心に運動部、文化部ともに全国大会やブロック大会に出場し、文武両道にふさわしい結果を残した。また地域と連携した取組も多く見られ、保護者や地域の方から高い評価を得た。今後は本校の教育活動を学校ホームページや広報等により、広く校外に発信するなど学校の魅力発信に努めたい。</p>	<p>生徒情報の共有、及びいじめ防止・特別支援教育等の組織的取組の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に関するアンケート、いじめに関するアンケート等を利用した情報収集と報告・連絡の徹底 ・教育相談委員会や学年会、職員会議における生徒情報の共有徹底 ・保護者、及び県教育委員会、医療機関、福祉施設等の外部機関と連携した取組の強化
<p>○学校生活に関する生徒アンケートの項目では、「部活動が活発な学校である」で99%、「服装や時間など集団生活のきまりを守っている」で99%など、評価項目11のうち9項目で、肯定的回答が90%を上回った。また、学習指導に関する生徒アンケートでも、教員の説明のわかりやすさに関する肯定的回答が、多くの教科で80%を超えた。</p> <p>学校生活に関する保護者アンケートの項目では、「部活動が活発な学校である」で95%、「充実した学校生活を送っているように感じる」で93%など、評価項目14のうち9項目で、肯定的回答が80%を超えた。</p>	<p>学びの場にふさわしい服装・頭髪、及びスマートフォン・SNSの適正使用に関する指導の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による組織的・計画的な取組の実施 ・職員研修を活用した生徒指導力の向上
<p>○生徒の進級や卒業に向け、個別面談や日常の声かけなど、全校体制で丁寧な学習指導を行った。さらにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部機関との連携も図り、生徒一人一人を大切にする指導体制を構築した。また、学校評価アンケート、いじめアンケート等によって情報収集にも努めた。引き続き、個別の対応といじめを見逃さない体制づくりに取り組んでいく。</p>	<p>学校ホームページ等の充実による教育活動の積極的情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だより等の定期的な発行やホームページを活用した教育活動の広報 ・ホームページや携帯メールを利用した迅速な情報発信 ・学校評価アンケート等による外部意見の積極的聴取

教科	具体的目標	具体的方策	評価基準
国語	様々な文章に触れることで深みのある教養を身につけさせ、豊かな人間性を養う。	生徒の主体的、協働的な学びを重視する授業を展開し、生徒の思考力、学習意欲を高め、積極的に授業に向かう姿勢を育てる。	学校評価アンケートにおける生徒の好評価 A80% B70% C60% D60%未満
	生徒が進路希望を実現できるよう、基礎的な知識を定着させ、読解力・表現力を高めていく。	充実した授業を展開し、小テストや課題、補習などを通じて基礎学力を定着させるとともに、入試に対応できる実践力を養成する。	進研模試の各学年の偏差値 A53 B51 C49 D49未満
地理歴史・公民	歴史的・地理的な見方や考え方を培い、現代の社会と人間についての理解と考察を深める。	教材の精選や工夫を行い、興味・関心を高める授業を展開する。	学校評価アンケートにおける生徒の好評価 「わかりやすい、ためになった等」 A80% B70% C60% D50%
	社会性の基礎・基本となる知識を定着させるとともに、進路実現のための応用力を養う。	小テストや個別指導などを実施する。模擬試験で大学入試に対応できる学力をつける。	進研模試の各学年の偏差値 A53 B51 C49 D49未満
数学	事象を数学的に考察し、表現したり処理する能力を高め、それらを積極的に活用する態度を養う。	生徒の実態にあわせ、授業展開を工夫し、進路希望実現に必要な学力の養成を図る。	1・2年は進研模試の平均偏差値51以上
	学ぶ意欲を高め、生徒の心に響く授業を心がけ、基礎的な知識や学力を定着させる。	教科書だけでなく、プリントや問題集、参考書等を活用しながら十分な演習を行い、基礎学力の定着を図る。	・学校評価アンケート 「家庭学習をしているか」 A70% B60% C50% D40% ・課題の提出率80%
理科	自然現象や人間の営みを科学的な観点から眺める力を養成する。	教材・授業方法を工夫し、わかりやすい授業を展開する。	学校評価アンケートにおける好評価 「わかりやすい、ためになった等」 A80% B70% C60% D50%
	進路実現のための実践力を養成する。	補習、特編授業を活用し、センター試験、国公立大個別学力試験、私大入試に対応できる実践力の養成を図る。	進研模試の成績（学年全体の平均点偏差値）で51以上
英語	基礎的な知識や学力を定着させる。	わかりやすい授業を目指し、小テストや週末課題、課題などを通じて基礎学力の定着を図る。	学校アンケートにおける生徒の好評価 A80% B70% C60% D50%
	進路実現に対応できる実践力を養成する。	模擬試験、入試過去問題、補習、特編授業を通じて実践力を養成する。	進研模試の成績（学年全体の平均点偏差値）で51以上
保健体育	一学期中に全ての生徒の学校体操を完成させる。	個々の習熟度に応じた指導を行い、達成度が遅い生徒には授業時間以外に補習を行う。	A 全員完成 B 3人未完成 C 5人未完成 D 8人以上未完成
	生徒1人1人が、授業の内容を十分理解し、意欲的に取り組めるわかりやすい授業展開を行う。	各單元ごとに身近な事例を出しながら授業を実施するとともに、運動共感を得やすい、わかりやすい指導を行う。	学校評価アンケートにおける生徒の好評価 A80% B70% C60% D50%未満
	スポーツテストにおいて、1年生は県平均、2・3年生は前年度の値を全種目で上回る。	主運動前に補強運動を実施し、基礎体力を向上させる。	A 全種目目標値以上 B 1種目目標値以下 C 2種目目標値以下 D 3種目目標値以下
芸術	生涯にわたり芸術を愛好する心情と、文化を尊重する姿勢を育てるために教材の精選と創作活動を目指す。	・基礎能力に沿った指導を行い、表現技術、技能の定着を図る。 ・芸術の歴史を鑑賞活動によって学び、その様式美の豊かさを感じ取る。	・表現活動の自己評価による達成感、成就感 A80% B70% C60% D50%未満
	生徒の個性を尊重した授業展開と様々な芸術活動を通して、日常を取り巻く事象に感動する心情を育てる。	・演奏、制作などの自己表現の場を作り、自己批評する能力を養う。 ・表現の多様性を認め、創造的な表現につなげる。	・学校評価アンケート等による自己批評の客観化と達成感 A80% B70% C60% D50%未満
家庭	生活に必要な基礎的知識・技術を習得	・体験学習や実習を年間計画に従い実施す	学校評価アンケートで「わかり

	させ、授業の工夫により積極的・主体的な態度を養う。	る。 ・視聴覚教材を積極的に活用する。	やすさ」や「取り組み」の肯定的回答が80%以上。
	専門的知識と技術の向上をはかり実践力を身につけさせる。	・各種検定の指導の充実を図る。 ・校外学習や外部講師による講義や実習を実施する。 ・行事や各種コンテストに参加・応募させる。	・家庭科技術検定に全員が合格する。 ・校外学習や外部講師による講義や実習を年6回実施する。 ・1人1回行事やコンテストに参加する。
	校外への情報発信を活発に行う。	ホームページやオープンスクール、産業教育フェア、済美祭を通して家庭科の学習に関する情報を発信する。	・オープンスクール等で生徒による学科紹介・作品展示を行う。 ・年3回以上ホームページの掲載情報の更新を行う。
情 報	・情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させる。問題の発見と解決に効果的に情報を活用する。 ・情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。	・情報があらゆる場面で活用されることを理解させ、科学的な考え方を習得する。 ・情報化社会でのモラル・マナーの育成を通して、将来社会人として活用できる技能を習得させる。	学校評価アンケートで「わかりやすい・ためになった等」の回答が80%以上

分 掌	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価 基 準
教 務	学習指導と特別活動のバランスのとれた学校運営を図り、学習環境と学校生活の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した年間行事計画を作成し、授業時数の確保を図るとともに、各行事等を検証することで次年度計画の改善に努める。 ・各種奨学金制度の案内を行い、学習環境の充実に努める。 ・各種行事や式典を円滑に行い、学校への帰属意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動と特別活動について学校評価アンケートや各種行事後のアンケート等で肯定的評価が8割以上 ・当初の計画通りの授業時数を確保 ・学習環境と学校生活の充実度について、学校評価アンケート肯定的評価8割以上
	生徒や保護者や地域への情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールや授業公開を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールや授業公開の来場者アンケートで肯定的回答8割以上
生徒指導	・長岡大手というブランドを意識させた上で規範意識を高め責任感を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・服装および頭髪については自分で責任を負うように恒常的に指導する（服装自由化宣言の意味を理解させる）。 ・携帯電話のマナーやブログ等のトラブル防止のための意識啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装指導を年に3回（4・8・1月）実施する。 ・月に一度、全校集会で規範意識を定着させる指導をする。 ・1年生で携帯電話のトラブル防止の講習会を行う
	家庭や地域と連携した指導を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の問題行動に対して学年、クラス、家庭をリードして再発予防に全力をあげる。 ・警察、地域、他校と定期的に情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の声を聞く会」「生徒指導連絡協議会」「学校評議員会」等における外部からの意見を真摯に受け止め適切に対応する。
	交通安全の意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の運転マナーを徹底させる。並列走行、傘差し運転ながら運転をさせない。 ・駐輪場の整理整頓を行う。 ・自転車には必ずステッカーをつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪指導を年に4回（4. 6. 9月）を実施する。 ・毎日、駐輪場の点検を行う。できていないクラスは生活委員に直させる。 ・毎日、ステッカーの点検を行う。
	道徳心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと登校できるように配慮する。 ・いじめの早期発見。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒玄関に立ち、登校する姿を観察する。 ・年に3回、生活実態調査を行い、悩みやいじめについて早期に発見、解決する。
進路指導	・進路希望を実現するための組織的・計画的な取組を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導計画に基づき、学校全体、学年全体方針をもって指導する。 ・補習や模擬試験、検討会などを充実させ、進学指導体制を整える。 ・多様な生徒の進路実現のため、組織的体制のもとで、個に応じたアドバイスや相談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導計画に基づき、学校全体、学年全体方針をもって進路指導ができたか。 ・学校評価アンケートの該当する質問に対する肯定的回答 A80% B70% C60% D50%
		<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験等の結果を分析し、教員間で情報共有して改善に向けた指導を行う PDCA サイクルに基づき、生徒の着実な基礎学力の定着を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験等の結果、入試等に関わる主要な情報を全職員間で共有できたか。 ・模擬試験分析に基づく弱点分野の改善が図られたか。 ・学校評価アンケートの該当する質問に対する肯定的回答 A80% B70% C60% D50%
	・新しい学力観に基づく資質・能力の育成を図り、進路選択や 進路希望実現に有効な進路情報や資料を積極的に提供し、家庭と連携した生徒への支援指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習（探究）の時間」やLHR等を活用して、求められる資質・能力の育成を促す。 ・「進路の手引」や「学年だより」を発行する。 ・学年集会や保護者対象の進路説明会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの該当する質問に対する肯定的回答 A80% B70% C60% D50%

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談を支援する進路情報の提供を行う。 	
生徒会	<p>学校行事やHR活動への生徒の積極的参加と自主的運営を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部と教員の連絡を密にし、生徒会活動の活性化を促す。 ・生徒会やHR活動を可能な限り自主的に運営させる。 ・体育祭、済美祭、スポーツ大会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの学校行事の項目で、肯定的評価A80%以上、B70%以上、C60%以上、D60%未満
	<p>部活動をとおして、生徒の健全な心身を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動説明会、壮行式、表彰式などにより、部活動への加入を促す。 ・各部ごとに目標を立てさせ、部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ加入率 A80%以上、B70%以上、C60%以上、D60%未満 ・学校評価アンケートの部活動の項目で、肯定的評価A80%以上、B70%以上、C60%以上、D60%未満
保健環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に心身の健康管理ができる生徒を育てる。 ・心の健康に問題を抱える生徒の支援を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康調査等を実施し、健康状態や管理状況を把握する。 ・疾患（疑）の早期発見と早期受診を勧める。 ・精密検査指示者の全員受診を勧める。 ・SCと連携して支援にあたる。 ・健康教育の推進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康調査を実施し職員で情報共有する。一覧表にし2回更新する。 ・精密検査対象者の全員が受診し医師から指示を得る。 ・教育相談委員会と連携し支援にあたる。 ・健康講話後のアンケートによる生徒の理解度を80%以上。
	<p>適切な学習環境づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大清掃・除草等を計画的に実施する。 ・美化委員会の日常的活動を通して自主的活動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大清掃を月1回・除草を年2回計画的に実施する。 ・美化委員会の日常活動の徹底。 ・学校薬剤師による環境衛生検査の実施と事後措置を行う。
教育情報	<p>(涉外) 保護者、同窓会、後援会等との連携の中で「生徒を育てる」という共通認識を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会出席率30%を目標にPRする。 ・PTA新聞の年2回発行。 ・東山大遠足の給水活動の保護者の参加要請。 ・保護者の大学見学会を企画し、意識喚起に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会出席率30%以上 ・「大学見学会」出席率5%以上
	<p>(情報視聴覚) 日常の教育活動等を保護者、地域に向け積極的に情報発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページや保護者用メールシステムを通じて情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新計画表達成率A100%, B80%, C50%
	<p>(図書) 図書館と視聴覚機器の活用を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科学習、学校行事、進路決定などの手助けとなるよう図書館資料や視聴覚設備を充実させ、利用の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより年2回、新着図書案内などの広報誌年7回発行

学 年	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価 基 準
1 学 年	基本的な生活習慣を確立させ、心身ともに健全な生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や期限を厳守させ、授業に集中させる。 ・頭髪・服装の指導などを通して規範意識を高め、学習に集中する雰囲気をつくる。 ・個別面談を利用して、基本的な生活習慣を確認し、改善などを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間前行動、提出期限を徹底できたか。 ・学校評価アンケート 「服装や時間など集団生活のきまりを守っている」 A80% B70% C60% D50%
	予習、授業、復習という学習サイクルを確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態調査などを利用して、学習のリズムを確認すると共に、個別面談で生徒の実態を把握する。 ・朝学習を実施することで集中力を高めさせ、1限の授業への円滑な移行を図る。 ・適量の週末課題となるよう、調整に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習時間が十分に確保できたか。 ・週末課題等の課題を遅延なく提出できたか。 ・学校評価アンケート 「5教科の家庭学習（予習・復習）をしている」 A80% B70% C60% D50%
	進路目標を早期に具体化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者に講演会等を通じて、新入試等に関する適切な進路情報を提供する。 ・模擬試験の結果を効果的に利用し、卒業後の進路についての目標を立てさせる。 ・キャリア教育を通じて、早期に職業観を持たせる。 ・面談を通して生徒の進路意識の高揚に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者に適切な情報提供を行った後、アンケート結果で高い満足度が得られたか。 ・学校評価アンケート 「進路実現のため積極的に学習している」 A80% B70% C60% D50%
2 学 年	基本的な生活習慣を確立させ、心身ともに健全な生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や期限を厳守させ、授業に集中させる。 ・頭髪・服装の指導などを通して規範意識を高め、学習に集中する雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間前行動、提出期限を徹底できたか。 ・「学校生活の決まり」を守り、身だしなみが崩れず、状況に応じた行動をすることができたか。 ・日々の計画を立て、規則正しい生活ができたか。 ・学校評価アンケート 「服装や時間など集団生活のきまりを守っている」 A80% B70% C60% D50%
	予習・授業・復習という学習サイクルを確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習を実施することで集中力を高めさせ、1限の授業への円滑な移行を図る。 ・授業内容を精選・工夫し、主体的に取り組む姿勢を引き出す。 ・週末課題を精選し、適量となるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習に集中して取り組めたか。 ・主体的に授業に参加することができたか。 ・週末課題の提出が徹底できたか。 ・自宅での学習時間が十分に確保できたか。 ・学校評価アンケート 「授業へのあなたの取り組みはどうか」 A80% B70% C60% D50%
	進路目標を具体化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校の入試や教育内容に関する適切な情報提供を適宜行い、具体的な進路計画を立てさせる。 ・面談を通して生徒の進路意識の高揚に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路研究や進路講話等を通じて、具体的な進路について計画が立てられたか。 ・生徒・保護者に適切な情報提供を適宜行えたか。 ・学校評価アンケート 「進路実現のため積極的に学習している」 A80% B70% C60% D50%
3 学 年	心身ともに健全な生徒の育成を図り、	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や期限を厳守させ、授業に集中させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート

<p>最上級生として1・2年生の模範となる学校生活を送らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頭髪・服装の指導などを通して規範意識を高め、学習に集中する雰囲気をつくる。 ・体育祭などの学校行事で指導力を発揮させる。 	<p>「服装や時間など集団生活のきまりを守っている」 A80% B70% C60% D50%</p> <p>・学校行事で指導力を発揮できたか。</p>
<p>授業第一主義を貫き、効率的・効果的な学習を模索させていくことで、多くの生徒の進路希望の実現につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習を実施して集中力を高め、基礎固めを行う。 ・授業内容を精選し、主体的に取り組む姿勢を引き出す。 ・6月から平常補習を実施し、大学入試に対応した学力の定着を図る。 ・特編授業を前期試験前まで実施し、実践力を養成する。 ・進路情報を適宜発信し、面談 等個別指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での学習時間が十分に確保できたか。 ・面談を3回以上実施し、進路実現をサポートすることができたか。 ・学校評価アンケート「進路実現のため積極的に学習している」 A80% B70% C60% D50%

委員会	具体的目標	具体的方策	評価基準
<p>人権教育推進委員会</p> <p>男女平等教育推進委員会</p>	<p>人権教育・同和教育の充実に向け、職員自らが人権意識を高め、差別を許さない生徒の育成に努める。</p> <p>学校生活を通じて、高い人権意識とそれを支える豊かな心を育むとともに、人権啓発に関して保護者と連携を図る。</p>	<p>校内外での研修に積極的に参加し、情報共有できるよう研修内容を記録に残し、人権学習会等で活用する。</p> <p>人権・同和教育講演会を2回、同和教育学習会を1回実施し、生徒・職員の人権意識啓発と豊かな心の醸成を図る。また、講演会について保護者に案内し、保護者との連携強化を図る。</p> <p>同和教育学習会で活用しやすい指導資料を作成し、活用する。</p>	<p>年間8回以上の研修会の記録・報告があり、情報提供や共有の場を設けている。</p> <p>・それぞれの講演会や学習会で生徒アンケートを実施し、講演会や学習会後の理解度を確認している。</p> <p>・講演会の保護者案内を行っている。</p> <p>学習会後に担当職員アンケートを実施し、資料活用のしやすさについて、肯定的回答を8割以上得ている。</p>
<p>教育相談委員会</p>	<p>いじめの未然防止・早期発見に努める。</p> <p>生徒の実態把握に努め、問題を抱えている生徒への支援内容を協議する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に委員会を開催し、いじめの兆候を早期に察知する。 ・いじめを察知した場合は速やかにいじめ対策委員会を開催し、対策を協議する。 ・いじめに関する職員研修を開催する。 ・情報の共有化を図る。 ・QU検査を実施し、問題を抱える生徒を把握し、面談、生徒の指導などに役立てる。 ・スクールカウンセラーと連携して、生徒を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後のアンケートを実施、肯定的な評価 A80% B70% C60% D50% ・QU検査を1, 2年で実施する。 ・毎月、スクールカウンセラーから助言を受け支援にあたる。